

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 9
2020・6・2

1 連邦食料大臣：食料の無駄を無くすモデルプロジェクトを表彰
ー「ごみ容器には良すぎる！」コンクール受賞者を発表ー（2020・5・28）

連邦食料・農業大臣ユーリカ クレックナーは、第5回「ごみ容器には良すぎる！」の勝者に、連邦省授与を今日（5月28日）発表した。その際、食料の無駄を減少させるための具体的なアイデア、パイオニア精神と重要な社会参画の提唱者を評価している。連邦食料省は、この賞でもって動機づけし、そして食料を大切にすることを目的にしている。

コロナウイルス-19-パンデミックによって、今年はデジタルによって開催しなければならない。これは連邦省のソーシャル メディアルートを通じて行う。クレックナー大臣：我々が今年もまた表彰する革新的なプロジェクトは、貴重である。これは意識を創り出すための手本である。まだ食べられる食品を投げ捨てるのではなく、経済的、生態系的に、しかし、倫理的な義務がここでは高い評価を得ている。

私は2030年までに、流通と消費者における食料の廃棄を半分にしたい。全体的な生産ー供給チェーンに沿ってこの問題に立ち向かう。全体で133の構想が、このコンクールに応募した。この中から審査委員会がベールベル デイックマン委員長（Bärbel Dieckmann かつての世界飢餓支援会長）のもとに、14のプロジェクトが最終選考リストに選出された。

この賞は生産ー農業、流通、レストラン、会社ー教育並びにデジタルの分野において授与される。また、2つの奨励賞がノミネートされた分野において表彰され、総額15,000ユーロ（約180万円）の賞金が授与される。

「ゴミ容器には良すぎる！」受賞者－2020年連邦省

(1) 農業－生産の分野

”黄色のバンド”のエースリング郡における散在果樹草地での収穫プロジェクト (バーデン ヴュルテンベルグ州 ネッカー河沿いのエースリング)

収穫プロジェクト”黄色のバンド”でもって、郡が散在果樹草地 (訳注・牧草地に1本の果樹を植栽し、無農薬で管理し昆虫、鳥類に生息場所を供している。)の管理を支援している。黄色のバンドでもって、樹木の幹に合図をしている。この果樹は無料でそして確認のための話し合い無しに、自由に誰でも収穫できる。この黄色のバンドは、草地で利用されていない果実を、腐らせることを懸念している。

(2) 流通の分野

”持続的な商品棚システム”のEasy Fill 有限会社 (ケルン ノルトライン－ヴェストファーレン州)

この会社は、生産、普及そして販売する商品棚システム、いわゆるファースト イン ファースト販売 (先に仕入れたものを先に販売する。先入れ先出し方式)を原則としている。これは第一に最も賞味期限の短い食品を先に販売し、ゴミ容器に入らないよう急いで消費される食品を配慮している。

(3) レストランの分野

食の多様性のためのMAN レストラン経営・エネルギーソリューション・ヨーロッパ (バイエルン州 アウガスブルグ)

”食の多様性”を基本に、食料の廃棄と包装ゴミの防止に際して、経営するレストランにおいて地域の現状に合わせて、支援している。そしてイニシアチブを可視化している。大きな経営レストランにおいて、食品ゴミを減少させ、そして食料の価値評価のテーマで、より多くのことを気づかせている。

(4) 社会と教育の分野

”良く考えて食料を購入し、加工、消費する”ためのヨハン ハイブリッヒ オーガスト ドランカー高校 (ラーテナウ ブランデンブルグ州)

このプロジェクトの分野において、この高校は参加した同クラスの生徒とともに、多くの行動を通じて食料の価値を、他の生徒達に伝達した。

そしてその際、正規の授業で実践的な栄養教育を実施している。

(5) デジタル化の分野

有限会社・美味しいデータと学生/支援協会 将来の知能の支援でもって、学生食堂における生産過剰に共同で対応 (ミュンヘン バイエルン州)

学生食堂とカフェテリアは、食料をしばしばゴミ処理している。なぜならば、多すぎる料理づくりだから。「美味しいデータ」の立ち上げに際して、予測システムを作成し必要な料理の量を予め見積もり、それによって過剰な料理作りを削減する。これはその場の特別な、そして日々の要因を組立し、将来的な知見、体験データの基礎としている。これを通じて食料の量は、正確に把握できそして必要量に応じて、料理をつくることができる。

奨励賞でもって表彰

(1) 良く考えて食料を購入、加工そして消費する。

ヨハン ハイน์リッヒ オーガスト ドンカー上級学校
(ラウテナウ ブランデンブルグ州)

将来の目標：学生がこれまでの活動に学び、健全な栄養に関する食料を、自らの菜園で栽培することである。この奨励賞でもって、この学校は適切な菜園を近所に開拓した。

(2) 法人：子供にも簡単一食料の無駄はチャンスを失う生徒プロジェクト
(ミュンヘン バイエルン州)

このプロジェクトは食料の無駄の原因と結果について、青少年の意識を高める。この取り組みが、将来ギムナジュームの学校形態でなくても、増えるようにこの団体は活動している。その際、今日与えられた奨励賞が確実に助けになる。

表彰されたプロジェクトの奨励金を、それぞれ7 500ユーロ (約90万円) 得ることができた。受賞プロジェクトの詳細な情報は、次のホームページで入手できる。
www.zugut fuer dietonne.de

2 連邦食料・農業省：コロナウイルスがドイツ人の食習慣を変化させる
ー 2020年度食習慣の調査レポートを公表ー (2020・5・29)

連邦食料・農業大臣クレックナーが、2020年度食料レポートを、今日(5月29日)公表した。抽出アンケート調査で、ドイツ人の食・購入習慣を解明した。連邦食料省は現在のコロナ状況に基づいて、「コロナ危機における食料」の補足的なアンケート調査を実施した。

クレックナー大臣は、” コロナがドイツ人の食の日常を変えた” と、強調した。

また、地元からの食料が重要性を増した。これは食料への新しい意識を生じさせた。そしてそれは、生産する人の活動についても。この新しい価値評価は、断固として維持することが重要である。”

コロナ危機における食料のアンケート調査の中心的な結果

- ー 39%の回答者が、コロナウイルスを通じて農業の重要性が今一度増したと答えた。
- ー 特にこの増加は青少年と若い成人に該当する。半分近く 47%が地元農業に高い重要性を認めている。
- ー 30%がコロナ危機において、以前よりも自分で調理すると答えている。
- ー 28%が食事を以前よりも頻繁に一緒に食べている。
- ー 調理に際してより多く新鮮な食材を使用している。

クレックナー大臣はさらに続けた：6%の回答者のみが、従来からの産物供給を、8%のみが出来合いの食事の納入サービスを、頻繁に利用している。勿論 21%が食料購入のために、完成品を以前よりも頻繁に地元のレストランからの提供を求めている。これは社会的結束の印でもある。なぜならば、レストランは我々の食文化の一部であり、地域的な特別性と同一性を反映しているからである。料理人の新しい熱意が継続するか、または一応コロナパンデミックの条件下で義務付けられているのか、どうかは後に判断することとなる

味は食材の購入に際して決定的である。

- ー 回答者の 98%が味を重要視している。
- ー 70%が皿の上の多彩さを大事にしている。野菜、果物を毎日のトップに挙げている。
64%が乳製品を毎日食べている。
24%が肉とソーセージ類を毎日食べているが、これは減少している。
- ー 新しいこと：回答者の半分以上、55%がフレキシタリアン（Flexitarier 訳注・準菜食主義者 肉は食べるが、時々意識的に肉を止める）
- ー ドイツにおける菜食主義者（5%）と絶対菜食主義者（1%）は変わらない数字に留まっている。

クレックナー大臣：“消費者は変化と多様性を期待している。食習慣に独断的になることは少ない。私的な購入メモと買い物かごについて、公的な規制は間違った方法である。”

食料は健全であるべき

- 一 回答者の 90%が食料は、健全でなければならないとしている。
- 一 その際、加工品とインスタント食品への砂糖の添加増加に注意している。89%が食料の完成品に、より少ない砂糖の添加を支持している。食品がもはや甘く感じなくても。

そのため、連邦省は食料品業界団体に、削減一革新戦略の領域において、完成食品の中に砂糖、脂肪そして塩の含有量削減を義務付けた。最初の成果は科学的に証明されている。加えて大臣は決定した：ドイツにおいて食品の包装正面に、拡大した栄養価表示としてニュートリースコア（Nutri-Score）を導入した。

公的な家畜福祉の表示が求められている

- 一 回答者の 81%が公的、中立の家畜福祉の標示を歓迎している。
- 一 消費者はより多くの家畜福祉のために、その産物購入に際してより多く支払うとしている。
- 一 それどころか、45%がkg当たり 15 ユーロ（約 1 800 円）まで支払う用意があるとしている。

連邦食料大臣クレックナー：家畜の福祉に適合した産物のために、より多く支払うという消費者の言葉は喜ばしい。残念ながら店のカウンターには、しばしばまだ他の産物がおかれている。しかし、消費者が 1つの産物により多く支払うとき、信頼のおける透明性ある表示が望まれる。実際に家畜の福祉に対しても、より多くの産物が提供され始めている。そのため、適切な標示が重要である。

食品の無駄に反対する活動が効果を示している。

- 一 消費者は食料の価値評価と資源の無駄遣いに敏感になっている。91%の回答者が自らの考えを信頼し、そして賞味期限の日付経過後の食品をチェックし、すぐに直接投げ捨てていない。2016 年にはこの数値が 76%であった。

連邦大臣クレックナーの結論：この報告は示している。我々の政策上の重点は、消費者が重要であるというテーマである。透明性のある表示と食料の投げ捨て防止を通じて、家畜の福祉から地域性とバランスある栄養まで。

背景：

連邦食料・農業省の委託で「forsa 意見調査研究所」が、2019年12月から2020年1月まで、14歳以上の約1000人の国民に電話で、食料一購入習慣を質問した。この調査は、2015年から既に5回目である。

補充的に2020年4月に1000人の国民にコロナ危機が、食料の購入一調理一食行動にどのような影響を与えたかを、抽出調査を行った。この2つの調査で得られた重要な成果は、2020年食のレポートにまとめられている。

3 連邦食料・農業省：景気プログラムの中に家畜福祉の畜舎改造

(2020・5・27)

連邦食料・農業省のクレックナー大臣は、より多くの家畜福祉のための「投資奨励プログラム・畜舎改築」を要請した。農一林業における新しい投資でドイツ経済の景気回復を、全体的に支援する。

あなたは以下の報告を活用できる：

連邦大臣クレックナーは、”生産能力拡大と結びつかなくても、現代に即してより多くの家畜福祉の実現を可能にするところの、畜舎改造を奨励する。これは消費者も家畜飼育者も、望んでいることである。そのため、我々は畜舎改造のために大きな投資を必要とする。家畜の飼育頭数を拡大するのではなく、現状の中で家畜がより多く動き回れる場所を提供する”と述べた。

家畜飼育と産肉経営における経費圧迫が大きくなり、同じく経営の重圧が見込まれることから、ヨーロッパ内の家畜飼育者の競争の歪みと、コスト上の不利を避けるために、家畜飼育者の土地離れを阻止し、そして地域的に産物供給を確保すること。そのため、支援なしには家畜飼育者に対応できない。品質性の分野における家畜飼育のための投資奨励プログラムは、経営の立地確保だけでなく、特に家畜一環境保護に役立つ。

クレックナーによると、当面するコロナウイルス（COVID-19）パンデミックでは、つぎのことをはっきりと認識すべきとしている。品質的に高価値な地域産物かどうかにかかわらず、健全でそして安全な食料であることがまず重要である。同時に気象条件に基づく変化と限定された資源が、増大する生産リスクのもとで、農業者の広範な適応能力が必要とされる。

加えて農業には、変化する社会的な期待が求められる。これは特に、家畜飼育に該当する。基本的には全く農業生産方法への疑問視である。ドイツとヨーロッパの農業の立場確保と地域的な食料生産は、システムの的に重要である。食料確保の総合的な価値創造チェーン（バリューチェーン）の持続的な実行の戦略上の課題が、逞しい経済の中核に含まれる。

この背景の前にドイツにおける地域の農一林業並びに農村地域が、自らの道をより多く持続性を強化し、そして目前に迫っている適応に際して、可能な限り支援されるべきである。食料の製造上で明確な焦点と並んで、家畜の福祉並びに自然資源の効率的な利用と保護は、アジェンダ 2030 の意味において重要な発展段階である。革新と将来的な投資が、対となっている。

クレックナー大臣：” 持続的な地域農業一林業は、ドイツの国内の地域的な就業の場を確保し、そして農村地域内における経済的活性化に貢献している。環境の保護、生物多様性の保持、しかし、気象変動に対する森林の適応もまた。例えば、農一林業が持続的な経済成長と気象目的の達成に貢献できる。”

連邦農業省の目的は、コロナウイルスーパンデミックからの体験に直面して、農一林業経営、漁業と農村地域の抵抗力をさらに強化することである。農業一食料一林業と農村地域強化のための投資は、この目的を達成するために、基本的な貢献を果たす。このことは、農業の競争力を特に近代的、デジタル技術の投入を通じて、改善することに適している。同時に生産におけるより多くの家畜保護、より多くの持続性並びに資源のより効率性を達成する。

クレックナーは、最後に農業分野の景気プログラムに基づく要請を行った：農一林業における新しい投資は、連邦域内で手工業、営業そして他の周辺経済分野に関して、地域的な役割に応じて実施される。新しい投資は、ドイツ経済の景氣的な復活を、総合的な支援に適している。つまり、農業分野を越えた就業の場の確保のため、そして同時に農村地域で全体的に、安定させるために。

2020・6・1 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
